

1. 国土基盤の理念

有史以来の長い歴史の中ではぐくまれてきたわが国の国土が、近年の効率性、経済性優先の国土政策の中で失った「豊かで美しいふるさと」を取り戻し、ジャパンプランドとして国民が世界に誇ることのできる国土を回復。

2. 国土基盤の目指すべき姿

人口減少時代の到来に対応し、都市構造の集約や二地域居住等の新しいライフスタイルを実現する国土基盤

アジア経済との連携の深化に向け、ヒト・モノ・情報の国境を越えたシームレスな流れを支える国土基盤

気候変動等による災害の多発・激甚化に対応し、安全で安心、安定な国民生活を担う国土基盤

少子高齢化による地域コミュニティ弱体化に対応し、地域アイデンティティを再構築し、自立する地域を世界に発信する国土基盤

3. 課題

- ① 情報通信ネットワークに対する国民の均等なアクセス機会の確保
- ② 公共交通サービスの維持

- ① アジアとの連続的、一体的な交通、情報通信ネットワークの形成
- ② 世界の交通、情報通信基幹ネットワークとの直結

- ① 地球環境の保全に向けた資源循環体制の強化
- ② 自然や災害としなやかに向き合う社会への復帰
- ③ ソフト、ハード一体となった防災、減災体制の構築
- ④ フェイルセーフ性の確保

- ① 高齢者等のモビリティ、相互交流、医療、行政情報サービス等の手段の確保
- ② 中山間地等集落の防災、孤立化回避

4. 国土の質的転換に向けた戦略

国土基盤形成戦略

(1) 都市・地域コミュニティを支える

- ① 高度情報化社会の形成：
⇒ デジタル・ディバイドの解消、ユビキタス環境の拡大 等
- ② コンパクトシティの形成：
⇒ 公共交通を主体とするモビリティ、自動車交通と高速都市交通のシームレスな連結 等
- ③ 自立する地域コミュニティの形成：
⇒ 地域社会の人的つながり、地域アイデンティティ 等

(2) シームレスアジアを支える

- ⇒ アジア・ブロードバンド、東アジア日帰り可能圏、貨物翌日配達圏 等

(3) 災害に強いしなやかな社会経済活動を支える

- ⇒ 自助・共助・公助のバランスのとれた総合的な防災、減災対策 等

(4) 持続的な資源循環型社会を支える

- ⇒ リサイクル技術のジャパンモデル 等

基幹戦略

(A) 国土基盤の国民参加型管理と有効活用

- ⇒ 国民との協働や民間事業者の参加による国土基盤の維持管理、アセットマネジメントの実施 等

(B) 効率的で効果的な国土基盤の形成、高度化

- ⇒ 国の役割の明確化、ローカルルールに基づく地域投資 等

(C) 効率的で効果的な国土基盤形成のための技術

- ⇒ 新たな交通輸送技術の進歩による交流の活発化 等